

がなされているが省略した。

註 * BORNET, ED. and FLAHAULT, CH: Sur Quelques Plantes vivant dans le Test Calcaire des Mollusques. Bull. Soc. Bot. Fr. 1889. XXXVI. pp. 1-31, Pl. VI-XII.

** エゾオウノガイ

*** マテの 1 種

***** Pérenyi の溶液の處方は 10% 硝酸 4 容量, アルコール 3 容量, 0.5% クロム酸 3 容量である。色は Blue violet を呈する。

(三浦昭雄—東京水産大學植物學教室)

學 會 錄 事

日本藻類學會第一回總會議事報告

日 時： 昭和 28 年 10 月 11 日, 午後 6 時より 10 時。

場 所： 金澤大學學生會館。

出席者： 33 名。

開會に當り、會長山田幸男氏の挨拶があり、中村義輝幹事が進行係となり、夕食を共にし乍ら、阪井與志雄幹事から庶務・會計の中間報告が行われた。後、廣瀬弘幸氏が總會議長となり議事に入り、中村幹事から提案理由の示された會則の變更を踏り、本號の表紙裏に掲載された會則が承認された。又、無記名投票による會長の選舉の結果山田幸男前會長が再選され、新役員は後に會長の指名による事で一任された。更に、會長より、石川光春 國枝博 牧野富太郎 三宅職一 中野治房 田原正人 山内繁雄の 7 氏を本會名譽會員に推薦致し度しとの提議があり、満場一致で之を可決した。次いで懇親會に移り、自己紹介等が和氣藪々裡に行われ、第一回總會を終つた。その他の議事及び報告等は下記の如し

1. 會 則。本號表紙裏に掲載のものを見られたい。
2. 會 誌。本會の財政面から會誌に廣告欄を設けよ、との聲があつたが、今後考へる事になつた。又連載講座様のものを掲載しては如何との聲があり、多數の賛成者があつた。
3. 會 員。會員數が少ない故會誌を店頭に出し、又他の雜誌に本誌の存在を強調しては如何との聲あり、之には會員總てが新會員の獲得をすべきであるとの申し合せに一致した。
4. 役 員。後日、會長より指名されるが、各地に世話係を依頼し、會員からの質疑に應答し、其の他、入會、會費の一括送付等の斡旋をする様にしたいとの提案があり、之を實施する事にした。